

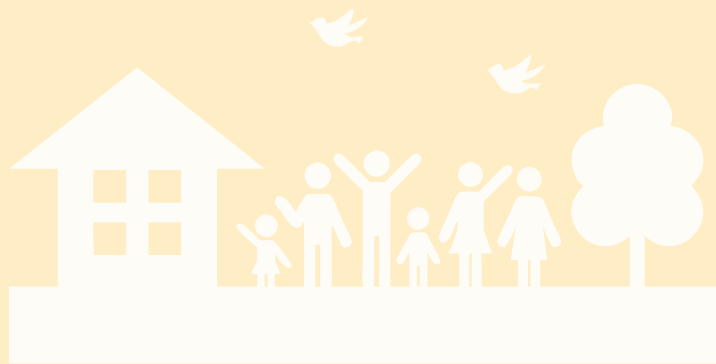
生活クラブはなぜ福祉に取り組むの？

生活クラブは協同組合です。協同組合の目的は世の中を少しでも良くすること。一人ではできないことも協同する(心と力を合わせる)ことにより様々な問題を解決してきました。購買力を結集し安心安全な消費材をつくってきたように、超少子高齢化が加速する社会に向けても、地域の中でどのように暮らしたいかをみんなで考え、私たちが望む福祉を様々につくっていきます。

「市民参加型福祉」をすすめます！

市民参加型福祉とは、地域に必要と思う福祉サービスや福祉活動を、そこに暮らしている市民自らが様々な方法（NPO団体、市民事業、ボランティア、ワーカーズ、市民サークル等々）で実践することをいいます。地域の中で誰もがその人らしく尊重され安心して暮らし続けられるような市民参加型福祉を、みんなで大きく育てましょう。

※共同購入事業とは別に福祉のみを目的とした基金をつくることで、賛同した人のお金の流れがはっきり見えます。そして共同購入事業に左右されない安定した財源となります。



福祉基金のしくみ

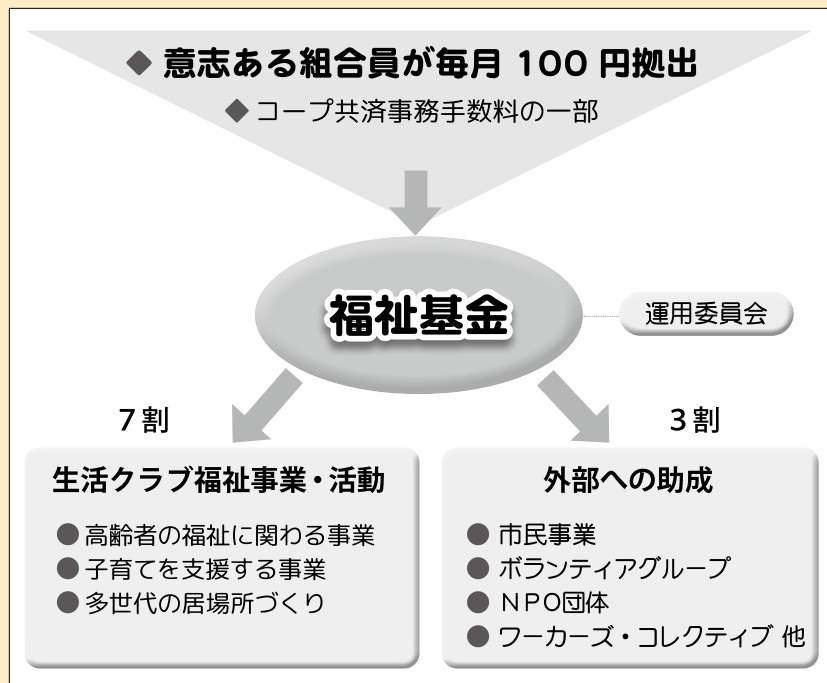
基金の参加の方法

- 一人ひとりの組合員の意志に基づき毎月 100 円を拠出します
- 「福祉基金賛同書」を提出することで参加の意志を確認します
- 毎月の共同購入代金と一緒に引き落とします

基金の使いみち

福祉基金は下記の使い方を基本とします

- ①生活クラブが進める福祉事業・活動への使用
- ②地域で活動している団体等への助成



- ◆ 助成金や使いみちについて、組合員に広報していきます。年 1 回、報告会を開いて多くの人に意見交換の場を設けます。
- ◆ 外部への助成については申請に基づき審査の上、単年度ごとの助成とします。助成地域は生活クラブ共同購入エリア内とします。
- ◆ コープ共済事務手数料からの拠出額は、個人の拠出金を超えない範囲にします。
- ◆ 福祉基金運用委員会
専門家を含めた 10 名程度で運用委員会を設置し、基金の運用に関する監査とともに外部助成先の選考等を行います。

問合せ先 生活クラブ生活協同組合 ☎ 011-887-8891

発行 1000 部

私たちがつくる もう一つの福祉

「市民参加型福祉の輪を広げよう」

／さあ！

始めませんか 福祉基金



生活クラブ

地域に必要な福祉を 私たち一人ひとりが支えます！

意志ある組合員一人ひとりの毎月 100 円の拠出金からなる福祉基金は、生活クラブが進める福祉事業や活動と、地域で活動する団体等への助成として使われています。

●福祉基金の7割を生活クラブの進める福祉事業・活動に拠出しています

ほっとたいむ

厚別区大谷地会場は札幌市の地域子育て支援拠点事業（ひろば型）の指定を受けて、週3回の常設サロンとして開催しています（開催時間は5時間・無料）。中央区桑園の「ふきのとう文庫」では月2回、開催しています。

会場の運営は子育て支援ワーカーズ ほっぺ（大谷地）、子育て支援ワーカーズ ぽぽら（桑園）。地域の組合員サポーターに見守られながら、参加の親子が木のおもちゃや絵本に囲まれて、“親子もほっとできるひと時”を過ごしています。



ほっとたいむ大谷地（厚別区）



ほっとたいむ桑園（中央区）

放課後r o o mここちる

2020年9月より生活クラブ館・北広島で新たな子育て支援として小学生の放課後居場所事業「放課後r o o mここちる」を開催しています。運営は子育て支援ワーカーズ ほっとまむです。「ここちる」という名前は、ここにいるよ、というメッセージと心地よい居場所であるようにとの願いが込められており、子ども達が安心して過ごせる場所となっています。



介護・認知症に関する講座

現場で日々働いているたすけあいワーカーズを講師に、オリジナルテキストを使って学ぶ「介護講座」では、実際にベッドや車椅子を使い、着替え、食事、排せつ等家庭での日常的な介助のコツをわかりやすく学びます。

また、認知症の方への接し方や支援の仕方を学ぶ、認知症サポーター養成講座を定期的に開催しています。



介護講座



認知症サポーター養成講座

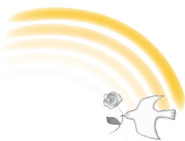
多世代の居場所づくり

生活クラブ館・とよひらでは、子育て中の親子がほっとできるぽんぽんひろばや中高年の方に人気のシンプルエクササイズ（体操教室）などを開催。多世代が集うイベントも企画しています。



ぽんぽんひろば

福祉基金のあゆみ



2003 年度 ・福祉基金創設

2004 年度 ・「介護教室」スタート

2005 年度 ・厚別区大谷地で子育て支援親子ひろば「ほっとたいむ」開設

2006 年度 ・北広島市輪厚で2ヵ所目の「ほっとたいむ」開設

2007 年度 ・「介護予防教室」（いきいきライフ講座）スタート

2010 年度 ・福祉基金賛同者集会を3回開催

2011 年度 ・福祉基金が100円に金額変更

2012 年度 ・東区伏古で3ヵ所目の「ほっとたいむ」開設

2014 年度 ・大谷地会場の「ほっとたいむ」が札幌市地域子育て支援拠点事業の指定を受ける
・北広島市輪厚会場の「ほっとたいむ」を「生活クラブ館・北広島」へ移設

2015 年度 ・「認知症に関する講座」スタート

2017 年度 ・中央区桑園で月1回「ほっとたいむ」開催

2020 年度 ・「放課後r o o mここちる」開設

2024 年度 ・生活クラブ館・とよひらで居場所づくりスタート

2004 年～ 2025 年度まで毎年助成

これまで、244 団体【総計 26,855,367 円】を助成

●福祉基金の3割を地域で福祉活動を進めている団体等に助成しています

【2025 年度 助成団体】

No	団体名	助成内容	所在地	助成額(円)
1	NPO 法人 いしかり地域共生ラボ	認知症啓発のための学習会、講演会用プロジェクター等	石狩市	105,000
2	NPO 法人 陽向ぼっこ	子ども食堂及び地域食堂併用のテーブルなどの費用	白糠町	203,500
3	NPO 法人 たすけ愛ふくろう清田	シニアヘルスマホ操作の無料支援（交通費、会場費）	札幌市清田区	118,000
4	NPO 法人 北海道若年認知症のひとと家族の会	広報に関わる PC 入れ替え費用	札幌市中央区	189,200
5	音楽ボランティア「ドミノ」	音楽療法に使用する楽器、会場費	札幌市北区	62,000
6	じぶた MAMA	おやこ食堂運営のボランティアに関する費用	札幌市手稲区	117,500
7	全国ギャンブル依存症家族の会北海道	講演会に関する費用	札幌市白石区	180,000
8	手稲区「くれよん'ず」人形劇部	人形劇開催に関する会場費	札幌市手稲区	50,000
9	にこにこ広場文京台	子ども食堂開催に関する教材、消耗品等	江別市	68,467
10	間借りカフェ 人出てる	居場所としてのカフェ運営に関する費用	札幌市中央区	50,000
11	労働者協同組合 らしく	子ども食堂に関する備品購入費	札幌市南区	80,606
12	一般社団法人 WHO CARES	福祉図書館に関する広報、備品購入費	札幌市北区	55,431
13	一般社団法人 ユアセル	フリースクールの子どもと若者の共同体験プログラム費用	札幌市西区	72,537
14	自殺予防団体 - SPbyMD -	対話を促すゲートキーパー養成講習事業に関する費用	札幌市白石区	100,000
15	子育て支援ワーカーズ プチトマト	広報誌印刷費用、講演会に関する費用	札幌市北区	55,180
16	ぷらっと BOOK	人のつながりをつくるための施設備品購入費	札幌市中央区	251,915

きりとり

生活クラブ福祉基金賛同書



記入年月日 年 月 日

支部

組合員コード

氏名

電話番号

(必ず記入して下さい)

私は生活クラブ福祉基金に賛同し、毎月100円を拠出します。

事務局

賛同される方は賛同書を古封筒に入れ、業務便で本部宛に提出して下さい